

5 バガスマルチがソリダゴの生育・開花に及ぼす影響

○ 結果の要約

ソリダゴの据え置き6月出し栽培(2度切り目)では、バガス無区とバガス5mm区や1mm区の生育開花特性は、花房長や花房幅に有意差があるが、品質上大きな問題はなかった。しかし、バガス5mm区は、バガス無区とバガス1mm区と比較して葉持ちが悪かった。

1 課題の背景とねらい

沖永良部地域の土壌は粘性が強く乾燥しやすい。そこで、地温の降温の調整や水分保持などの効果が期待できる有機質のバガスがソリダゴの生育開花に及ぼす影響について調査する。

2 関係機関団体との連携、役割分担等

園振協沖永良部支部花き技術部会及び各町技連会花き部会と連携し取り組んだ。

3 実証内容

(1) 実証場所 和泊町N氏平張施設ほ場

(2) 供試品種 ソリダゴ「タラ」

(3) 耕種概要

ア 作型 据え置き6月出し栽培(2度切り目)

イ 栽植様式 畝幅150cm, 株間15cm,
条間15-30-15cm, 4条植え, 3本/株仕立て

ウ 施肥 追肥 N:P₂O₅:K₂O=10:10:10(kg/10a)

エ 電照 3月出し収穫直後台刈り～収穫時(暗期中断4時間)
令和3年3月20日～6月19日

(4) 試験区の構成(写真1, 写真2)

区	内容
バガス無	被覆無し
バガス1mm	厚さ1mm被覆
バガス5mm	厚さ5mm被覆

※バガス被覆処理: 令和3年4月16日

バガス被覆処理は、3月出し後に
生長した植物体が草丈約30cmの時、実施

(5) 区制 1区31～54株 2連制



写真1 実証ほ場

4 結果及び考察

(1) 生育開花特性(表1, 写真3, 写真4)

ア 開花期は、区間差が認められなかった。

イ 草丈は、区間差が認められなかった。

ウ 80cm重は、区間差が認められなかった。

エ 花房長は、バガス1mm区と5mm区がバガス無区と比較して長かった。

オ 花房幅は、バガス1mm区と5mm区がバガス無区と比較して長かった。

カ 収穫後の葉持ちは、バガス5mm区がバガス無区やバガス1mm区と比較して悪かった。

バガス5mm区は、なぜ葉持ちが悪かったのか、葉の成分を解析する必要がある。

(2) その他(データ略)

ア 6月出し後の9～10月出し生育期間中(8月下旬～9月下旬)のバガス1mm区と5mm区は地温は、バガス無区と比較して、1～2℃低かったが、その作型の生育開花特性は、区間で大きな差は確認できなかった。

イ 9～10月出し生育期間中のバガス1mm区と5mm区の地温は、明らかな差は確認できなかった。

ウ 9～10月出し後の株枯れが多発したが、区間差が確認できなかった。

5 残された課題と対応

(1) 高温期である8～9月出し栽培のバガスマルチによる生育開花特性把握

(2) 花きのバガスマルチ現地事例の整理によるバガス利用マニュアルの作成

6 執筆者 渡辺 剛史



バガス無区

バガス 1mm区

バガス 5mm区

写真2 実証の処理直後の様子

表1 ソリダゴのバガスマルチが生育開花に及ぼす影響

区	開花期 (月/日)			草丈 (cm)	80cm重 (g)	花房長 (cm)	花房幅 (cm)
	10%	50%	90%				
バガス無	6/6	6/10	6/16	105 a	28 a	43 a	25 a
バガス 1mm	6/6	6/10	6/16	105 a	30 a	46 b	27 b
バガス 5mm	6/6	6/10	6/16	105 a	30 a	46 b	28 b

※異なるアルファベット文字はTurkey-Kramerの多重検定により5%水準で有意差あり



バガス無区



バガス 1mm区



バガス 5mm区

※撮影日：6/10

写真3 ソリダゴの収穫時の生育状況



バガス無区



バガス 1mm区



バガス 5mm区

※収穫6/16, 撮影日：収穫後9日後(6/25)

1区10本2反復

写真4 ソリダゴの品質評価